

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174360	観光ルート整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		15,690	20,440		4,750
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	15,690	20,440		4,750

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度

部重点施策における目標					
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します					

事業開始の背景・経緯					
二次交通の充実を通じ観光客の市内回遊性を高めることにより経済効果を発揮させる。					
事業概要					

花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 9,100千円 花巻温泉郷が共同運行する、JR新花巻駅～各温泉施設の無料送迎バスの運行支援 どんぐり号、やまねこ号運行支援 2,430千円 花巻市内の主な観光施設を巡るツアーの運行支援 団体旅行貸切バスツアーの運行支援 8,910千円 市外及び海外からの団体旅行貸切バスツアーに対する支援					
---	--	--	--	--	--

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況			
宿泊施設より、団体バスツアーにおける助成制度の要望があった。			

事業手法の詳細 1			
1. 花巻温泉郷共同送迎バス運行事業補助金 9,100千円（前年度比 300千円） 花巻温泉郷が共同運行する、JR新花巻駅 各温泉施設の無料送迎バスの運行を支援 事業費の1/2を補助 花台協議会 2,900千円（前年度比 300千円）花巻南温泉事業組合 6,200千円			
2. 観光ルート整備事業補助金 2,430千円（前年度比 1,920千円） 「どんぐり号」「やまねこ号」の運行支援 （市内の主な観光施設をレトロジャンボタクシーで巡るツアーの支援） 期間 4月～3月 料金 午前・午後コース3,000円/人 1日コース5,500円/人 1日連泊者コース5,000円/人 いずれも施設入館料含む。			
運行ルート【令和3年度下期例】 ・どんぐり号(午前) 花巻駅 花巻温泉郷 高村光太郎記念館 賢治生家 宮沢賢治記念館 新花巻駅 ・やまねこ号(午後) 新花巻駅 宮沢賢治記念館 宮沢賢治童話村 ワインシャトー大迫 早池峰と賢治の展示館 新花巻駅 花巻駅 花巻温泉郷			
3. 団体旅行貸切バスツアー支援事業補助金 8,910千円（前年度比+6,120千円） 団体バスツアーの誘客を図るため、市内宿泊施設に宿泊するツアーに対し、30,000円/台を補助する。			
【国内発着ツアー】 補助要件 貸切バスを利用した市外発着のツアー 令和2年9月に要綱を改正し、補助要件（国内発着ツアーの人数や時期）を緩和した			
【海外発着ツアー】 補助要件 貸切バスを利用した海外発着のツアー			

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174390	観光案内板整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,158	4,808		-350
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	5,158	4,808		-350

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

標識、案内板の不備、表示等に対する指摘と要望

事業概要

観光案内看板現地調査及び台帳整備 4,808千円
 観光課所管の「観光案内看板」や「標柱」の位置、表記されている案内の内容、設置年数など全て把握ができていないほか、過去の台帳を利用して管理しているため、更新されていないものが多数あることからR3年度に全体的な現地調査及び台帳を整備。GISに調査データを入力し、管理運営を実施。
 構造上危険なものや、路線の変更、施設の改廃等により整備が必要なものについて、撤去、変更、新設を順次行う。(案内板耐用年数10年)
 現地調査をした際に、既存案内標識の劣化度や表示内容の修正、多言語化も含めた優先度を決め、撤去、改修、新設を順次行うための計画を策定。

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

目的
 観光課所管の「観光案内看板」や「標柱」の位置、表記されている案内の内容、設置年数など全て把握できていないほか、過去の台帳(Excel)を利用して管理しているため、更新されていないものが多数あることからR3年度に全体的な現地調査及び台帳を整備。
 GISに調査データを入力し、管理運営を実施。
 構造上危険なものや、路線の変更、施設の改廃等により整備が必要なものについて、撤去、変更、新設を順次行う。(案内板耐用年数10年)
 現地調査をした際に、既存案内標識の劣化度や表示内容の修正、多言語化も含めた優先度を決め、撤去、改修、新設を順次行うための計画を策定。

- 課題
- ・観光案内看板等の台帳未整備
 - ・表示内容が不正確
 - ・案内施設名及び外国人
 - ・連続性の問題
 - ・文字サイズの不統一
 - ・老朽化の問題

事業手法
 観光課所管施設の台帳整備及びシステム導入により現状確認 案内標識の整備計画

- <整備計画の優先順位>
- ・字の薄れによる判読困難なもの
 - ・施設名称変更による不正確なもの
 - ・多言語化が必要なもの
 - ・案内標識の撤去・変更・新設等
 - ・路線変更、施設改廃による整備計画の見直し

【R3年度】
 観光案内看板等現地調査・台帳整備及び整備計画の策定
 約250カ所を調査・台帳整備 4,808千円